

公益財団法人 8020 推進財団

平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：東久留米市歯科医師会歯科保健普及啓発事業

(親と子の歯っぴーライフ・歯と歯ぐきの市民健康フェスタ)

2. 申請者名：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長 北村 晃

3. 実施組織：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 公益社団法人東京都歯科衛生士会 東久留米市

4. 事業の概要：

子どもの頃からの歯磨きを含めた良い生活習慣が健康な心と体を育みます。3歳以降の就学前の幼児と保護者を対象に歯みがきを通じて歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて食事・生活習慣を見直すことをテーマに、親と子の歯っぴーライフを開催しました。また1994年のWHOのテーマが口腔保健であったことから、市民のニーズと期待に的確にこたえる事のできる歯科医療、保健、福祉の一層の充実をはかるために、歯と歯ぐきの市民健康フェスタを毎年開催しています。こうした事業を通して、歯の健康寿命を延ばし、市民の健康の保持増進に寄与します。歯と口の健康に関する正しい知識を市民に対して広く普及啓発することを目的とします。

5. 事業の内容

①親と子の歯っぴーライフ

平成30年6月23日(土)午後1時から2時30分 会場 東久留米市わくわく健康プラザ1階講堂

第1部 パネルシアター「歯ブラシ屋ゴン太」歯科医師・歯科衛生士による人形劇を通して、歯ブラシの大切さ、生活のリズムを整える大切さを伝えた。食べることに関する良い習慣・悪い習慣に気づいてもらう。

第2部 歯ブラシ指導 ひがしくん(説明用模型)使用。歯科衛生士による親子単位で個別指導を行った。実際の幼児の口腔をチェック。正しくみがけているか指導。希望者にはフッ素入りペーストを使用。仕上げ磨きのポイントを解説。

まとめ 歯科医師講話(フッ素に関して等・保護者対象)その間、子供には良い生活習慣に関する紙芝居を行った。

②第25回歯と歯ぐきの市民健康フェスタ

平成30年10月27日(土)午後2時から4時 会場 東久留米市市役所1階 プラザホール

日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座主任教授 里見 貴史先生による講演会を開催した。

演題 あなたのその病気・・・口の中にも「犯人」が？

内容 日本は世界1,2の長寿国となりましたが、近年では、その長さだけでなく健康寿命に注目が集まっています。今回の講演では、加齢に伴う心身機能低下(虚弱)の前駆状態としての「オーラル(口腔)フレイル(虚弱)」から薬による顎(骨)の病気、口の中にできる癌といった高齢者に起こりやすい口の中の病気について、わかりやすくご説明いたします。さらに、明日から役立つ口の中の病気を早期発見する方法やその予防法についても解説いたします。健康寿命を実践しましょう！

6. 実施後の評価(今後の課題)：

親と子の歯っぴーライフでは、毎年内容をアップデートしながら、いかに子供のころからの歯磨きの習慣が大切かを伝えつつ、良い生活習慣を身につけることが重要かを継続的に伝えていく。

歯と歯ぐきの市民健康フェスタでは、市民のニーズと期待に的確にこたえる事のできる歯科医療、保健、福祉の一層の充実を提供できる事業としていきたい。